

日本ベンチャー学会制度委員会報告書

企業家を取り巻く創業環境とその改善策
ーイノベティブなベンチャーが生まれ育つための
社会変革と提言ー

2014年3月

はじめに

3年前、日本ベンチャー学会は、特別委員会として「制度委員会」を新設した。「制度委員会」新設にあたっては、職業の縦型の専門化が進んだ結果、ベンチャーを俯瞰し、共通の課題を発見し解決するための横串刺しの議論が不足しているのではないかという問題意識があった。そこで、日本ベンチャー学会に集う起業家、ベンチャーキャピタリスト、知財や監査に関する専門家等々に参集頂き、委員長の松田修一先生の下で議論を重ね、最終的に「付加価値創造エンジンとしての『コア技術をベースにした成長ベンチャーの輩出』」という報告書を出すと同時に、制度変革への幾つかの提言を行った。

続く2012年度からは、委員長を松田先生から秦にバトンタッチすると同時に、参加委員も一部入れ替えた上で、第2次制度委員会といえる委員会を引き続き開催した。

この制度委員会では、「企業家を取り巻く創業環境とその改善策」を共通テーマに、各委員の皆様を紹介いただいたイノベティブな事業を展開する起業家から、創業当時の状況やその後の企業成長の過程などについてのお話しをお伺いすることで、現状の日本の起業家が遭遇する創業環境の問題や成長段階での課題などについて議論して来た。お呼びした起業家は10名に上り、その事業は、バイオ、IT系の技術オリエンティッドなものから、既存市場での革新を目指す小売業や、農業・教育関連といった厳しい規制下にあった分野でのサービス業まで、幅広いものとなった(お話を頂いたベンチャー・起業家の一覧は5頁)。

加えて、制度委員会でお聞きした起業家の方々のお話しは、追加的な資料や情報も付け加えた上で、アントレプレナー教育にも役立たせようとの意図で、ご紹介を頂いた各委員の手によってケース・スタディ用のケースとしてまとめて頂き、委員長の秦がティーチング・ノートを付けて日本ベンチャー学会の『会報』に順次掲載することにした。現在、2012年6月発刊のVol.58から昨年度末12月発刊のVol.64まで8ケースを既に掲載した。

本報告書では、制度委員会でお話し頂いた起業家の方々のお話しをもとに、改めて起業家を取り巻く創業環境の問題点を指摘した上で、その変革への考え方・提言を提示したい。

本報告書の章立ては以下の通りである。

まず、「第1章」は、「イノベティブなベンチャーが生まれ育つための社会変革と提言」と題して、この第2次制度委員会での結論部分ともいえる、創業環境の問題点と変革への考え方および提言を提示した。

「第2章」は、「ベンチャーのケース・スタディ」と題し、委員会でプレゼンテーションして頂いた10人の起業家のお話しをベースに作成し、学会の『会報』に掲載したケースに、その後の動きなどを若干付け加えた上で再録した。委員会でお話しを頂いたケースのうち、まだ『会報』に掲載されていないものについても既に原稿は出来上がっており、それも『会報』掲載に先立って第2章に収めた。

続く「第3章」は、制度委員会のオブザーバーである川本明氏から、「提言実現に向けて一アベノミクスの先にあるもの」と題し、第1章での社会変革の考え方と提言を受ける形

で、日本で既にコンセンサスが出来上がっているとも言えるベンチャー振興策が、何故現実には進まないのか、その阻害要因とそれを乗り越えるための示唆について述べていただいた。

最後に「おわりに」では、前委員長の松田修一先生に、第1次・第2次制度委員会の概要と意義について簡単におまとめいただいた。

加えて参考として、アベノミクスの成長戦略に呼応する形で、2013年4月、この制度委員会も協力し、日本ベンチャー学会として発表した『緊急提言：ベンチャーが成長するための規制改革』全文と、同じく2013年6月に発表した、日本ニュービジネス協議会連合会、日本ベンチャーキャピタル協会、及び日本ベンチャー学会、以上3団体からの緊急提言である『三団体緊急提言：高付加価値型ベンチャー企業の簇業』（既に製本されて発刊されている）の要旨を掲載した。

なお、制度委員会委員及び本報告書の執筆分担は、次ページの通りである。

2014年3月

日本ベンチャー学会 制度委員会
委員長 秦 信行

▶ 日本ベンチャー学会制度委員会委員の氏名・所属

委員長	秦 信行	國學院大學	教授
委員	安達 俊久	一般社団法人 日本ベンチャーキャピタル協会	会長
委員	一柳 良雄	株式会社 一柳アソシエイツ	代表取締役兼 CEO
委員	岡田 雅史	有限責任監査法人トーマツ	パートナー
委員	佐藤 辰彦	特許業務法人 創成国際特許事務所	所長
委員	庄司 秀樹	東洋システム株式会社	代表取締役
委員	鈴木 真一郎	新日本有限責任監査法人	
		戦略マーケティング事業部企業成長サポートセンター長	
※委員	三浦 太	新日本有限責任監査法人	シニアパートナー
委員	山本 守	有限責任あずさ監査法人	パートナー
オブザーバー	川本 明	アスパラントグループ株式会社	シニアパートナー
オブザーバー	松田 修一	早稲田大学	名誉教授
アドバイザー	長谷川 博和	早稲田大学大学院	教授
事務局	田村 真理子	日本ベンチャー学会	事務局長

(※2013年1月に、新日本有限責任監査法人 三浦太氏から鈴木真一郎氏へ交代)

▶ 報告書の執筆担当

はじめに	(秦)
第1章 イノベティブなベンチャーが生まれ育つための社会変革と提言	(秦)
第2章 ベンチャーのケース・スタディ	
(1:佐藤・松田 2:庄司・松田 3:三浦 4:安達 5:一柳 6:山本 7:秦	
8:長谷川 9:田村 10:岡田 監修:秦・松田)	
第3章 提言実現に向けてーアベノミクスの先にあるもの	(川本)
おわりに	(松田)
資料1 緊急提言 「ベンチャーが成長するための規制改革」	
(日本ベンチャー学会緊急制度改革提言委員会)	
資料2 三団体緊急提言 要旨	(松田)

(※第2章は一部を除き会報の文章のまま掲載)

目 次

はじめに	1
第1章 イノベティブなベンチャーが生まれ育つための社会変革と提言	5
第2章 ベンチャーのケース・スタディ	
(ケース1) 植物由来のポリ乳酸(生分解性樹脂)成形技術の事業化 ～技術士小松道男の研究開発の挑戦活動～	13
(ケース2) リチウムイオン二次電池開発を支える東洋システム(株) ～エネルギー産業の技術開発で世界に貢献するイノベーションの軌道～	28
(ケース3) 手書き文字認識変換システムをリードする(株)MetaMoJi ～ワープロソフト「一太郎」に次ぐ、第2創業により世界に貢献する 革新的技術～	46
(ケース4) 「スマポ」事業概要と起業家から見た日本への提言 (株)スポットライト	59
(ケース5) 大学発ものづくりベンチャー イービーエム(株) ～世界への挑戦～	74
(ケース6) ペプチドリーム(株) バイオベンチャー天国と地獄 ～バイオベンチャーへの期待と誤解～	87
(ケース7) Kauli(株)	101
(ケース8) 経営理念が成長とイノベーションの原点 (株)ジェイアイエヌ	115
(ケース9) 起業の軌跡(奇跡!?)と農業ビジネスの現状 (株)エムスクエア・ラボ ...	128
(ケース10) 子ども達の未来のために～保育事業者のキャリアプラン～ (株)グローバルキッズ	141
第3章 提言実現に向けてーアベノミクスの先にあるもの	152
おわりに	158
資料1 緊急提言 「ベンチャーが成長するための規制改革」	160
資料2 三団体緊急提言 要旨	165